

第5次白鷹町総合計画後期基本計画がスタートします

第5次白鷹町総合計画は、平成22年度にまちの将来像を『笑顔かがやき 心かよう 美しいまち』として掲げ、平成31年度までの10年間のまちづくりの指針として策定しました。計画期間の折り返しを迎えたことから前期基本計画の評価検証を行い、人口減少社会や東日本大震災、平成25年及び平成26年と連続で発生した豪雨災害など、取り巻く社会情勢の変化も考慮し、今後5年間に求められる施策を加味して「共創のまちづくり」の更なる推進のために策定したものです。

4つの施策の柱「子育て教育」「雇用・産業」「地域」「防災」をベースに、次の6つのプロジェクトを重点的に展開します。

人口目標（平成32年）13,500人

* 0～14歳 1,500人
（年間85人の出生数確保）

* 15歳以上 12,000人
（65歳以上高齢者の元気度UP）

施策の4本柱

未来を築く子どもたち 子育て教育

安心して子どもを産み育てられる環境を整備するとともに、町全体で子どもと家庭を支える仕組みをつくります。

- ◆少子化対策
- ◆婚活支援
- ◆教育環境の充実
- ◆荒砥高校支援
- ◆文化芸術スポーツ振興

地域資源を活かす 雇用・産業

農業をはじめ、地域の資源を活用した産業の振興を推進し、女性や若者の就業、定住促進を図ります。

- ◆強い農業づくり支援
- ◆担い手、基盤づくり
- ◆企業振興、発展支援
- ◆6次産業化
- ◆観光交流の拡大推進
- ◆雇用確保創出
- ◆起業支援
- ◆民営化・民間委託の推進

住んでよかった 地域

地域が主体的に取り組むコミュニティセンターを核とした地域づくりを推進し特色ある住みよいまちづくりを進めます。

- ◆地区計画実現支援
- ◆各地区の公園の維持管理
- ◆空き家対策
- ◆移住者受入推進
- ◆地域公共交通の確保
- ◆住宅施策の展開
- ◆農村維持・里山再生

安全・安心 防災

地震や豪雨、豪雪などから財産や生命を守るため、災害に強い安全安心のための防災力を強化する取り組みを推進します。

- ◆災害に強いまちづくり
- ◆防災視点の公共インフラ整備
- ◆災害復旧事業による復興推進
- ◆危機管理対策の強化
- ◆荒砥橋の整備推進

すべての根幹を成す 人材育成 “地域づくりは人づくり”

最重点プロジェクト

《まちづくりは定住人口の確保から》

人口急減対策プロジェクト

人口減少の進行にできる限り歯止めをかけるため、少子化対策や婚活支援、若年層の雇用対策や定住に向けた住宅施策、町外からの移住者受入、広域連携等を推進します。また、交流人口の拡大をめざします。

平成27年度の主な事業（☆新規 ○拡充 □継続）

□第3子以降の保育料無料化	1,934万円
□妊産婦の通院費支援	315万円
□小児インフルエンザ ワクチン接種助成	283万円
○特定不妊治療助成	110万円
○放課後児童クラブの拡充	1,715万円
☆男女共同参画推進計画策定	18万円
☆働く女性の就労環境の向上	5万円

緊急プロジェクト

《危機に備え、地域の安全安心を実現する》

防災力向上プロジェクト

人口減少の進行にできる限り歯止めをかけるため、少子化対策や婚活支援、若年層の雇用対策や定住に向けた住宅施策、町外からの移住者受入、広域連携等を推進します。また、交流人口の拡大をめざします。

□豪雨災害復旧・復興	約2億3,900万円
○自主防災組織活動支援	162万円
○Jアラートシステム拡充整備	3,510万円
○消防防災施設の充実	3,812万円
☆(仮)まちづくり複合施設整備事業	352万円
☆防犯灯の全町LED化促進	193万円
☆産業センター再生可能エネルギー導入	3,418万円